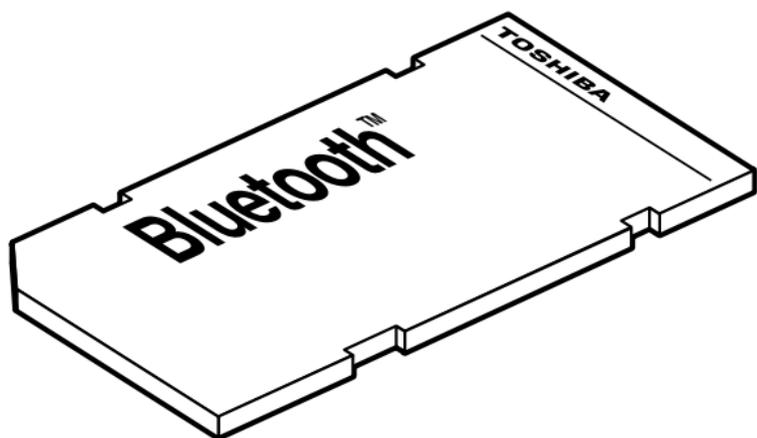


TOSHIBA

Bluetooth™ SDカード3

取扱説明書



保証書別添付

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読
みください。

安心してお使いいただくために

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。

本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本書は、必要となすにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。

お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

表示の意味

表 示	表示の意味
 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（* 1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（* 1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（* 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（* 3）の発生が想定されること”を示します。

* 1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

* 2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

* 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の意味

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 本製品の保証条件は、同梱されている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

●本製品の取り扱いについて

警告

分解・改造・修理しないこと

火災・感電・故障・ケガのおそれがあります。点検・修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。



分解禁止

運転中は使用しないこと

自動車やオートバイ、自転車などの運転中に使用すると事故の原因になります。



禁止

ビニール袋などの包装材料は幼児の手の届かないところに保管すること

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



指示

幼児の手の届かないところに置くこと

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



指示

注意

本製品の上または近くに「花びん・コップ」などの水の入った容器を置かないこと

液体などの異物が本製品の内部に入ると火災・感電の原因となります。

点検・修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。



禁止

ふろ場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しないこと

火災・感電の原因となります。



水場での禁止

パソコンにセットして使用中や使用直後の本製品にはふれないこと

高温になることがありますので、やけどのおそれがあります。肌の弱い方は特にご注意ください。



禁止

もし、落としたり、強い衝撃を与えたときは、使用を中止すること

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



禁止

●無線通信について

警告

付近に心臓ペースメーカを装着されている方がいる可能性がある場所では、使用しないこと

電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

心臓ペースメーカーの装着部から 22cm 以上離すこと
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



指示

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは
使用しないこと、また、医療用電気機器を近づけないこと



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは
使用しないこと



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作により事故の原因となるおそれがあります。

周辺に電波障害などが発生する場所では、使用しないこと



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本体を使用中に他の機器に電波障害などが発生した
場合は使用を中止すること



指示

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと
指示に従わずに使用すると運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。



指示

ご使用上のお願い

●本製品の使用環境、保管場所および取り扱いについて

電子レンジのそばでは使用しないでください。

通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。

金属製の机の上、金属物のそばでは使用しないでください。

通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。

パソコンをポケットに入れた状態、身体にくっつけた状態では使用しないでください。

通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。

通信中は本製品に指を触れないでください。

故障・誤動作の原因となります。

SD カードスロットと CF カードスロットがとなり合わせに装備されているパソコンでは、本製品と CF カードを同時に使用しないでください。

CF カードが本体カバーからつき出るタイプだと、通信性能低下の原因になります。この場合は CF カードを取りはずしてから、通信をしてください。

パソコン本体に本製品を取り付けた直後（約 5 秒以内）や通信中は、本製品を取り出したりパソコン本体の電源を切ったりしないでください。

正常に通信ができなくなります。

次の使用環境条件の場所でご使用ください。

温度 5 ~ 35℃、湿度 20 ~ 80%RH

SD カードスロットと CF カードスロットがとなり合わせに装備されているパソコンで本製品と CF カードを並行して動作させた場合、CF カードの動作発熱の影響で通信性能が低下することがあります。このときは、CF カードの使用を中止し取りはずしてから、通信を行ってください。

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。

極端に低温になるところに置かないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。

ほこりの多いところに置かないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

急激な温度変化を与えないでください。

結露^{けつろう}が生じ、故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。

振動の強いところに置かないでください。

故障・誤動作・記憶内容の消失の原因となります。

製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。

破損・故障の原因となります。

東芝製パソコン以外の機器に取り付けると、その機器のコネクタ（接続部分）が壊れることがあります。

本製品はSDカードスロットが装備されている東芝製のノートパソコンまたはPocket PCでのみ使用することができます。

パソコン本体の内蔵バッテリーを使用して、本製品で通信しているとき、内蔵バッテリーの充電量がなくなると電源が切れてしまい、通信中断になります。

パソコン本体にACアダプタを接続して通信をしてください。

本製品にシールやラベルなどを貼らないでください。

通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。

用途制限について

- 本製品は人の生命に直接関わる装置等^(*1)を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

- * 1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のようなものを言います。
 - ・ 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
 - ・ 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
 - ・ 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置 など

- 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム^(*2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮^(*3)が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

- * 2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。
(原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護システム、その他安全上重要な系統およびシステム)
(集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム)
- * 3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

ハードウェアの保証とアフターサービスについて

●修理について

【無料修理（保証修理）】

取扱説明書、同梱のステッカーなどの注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。

【有料修理】

「保証書」に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

もくじ

安心してお使いいただくために	1
安全上のご注意	3
ご使用上のお願い	6
もくじ	10
はじめに	11
同梱物の確認	13
1 ご使用になる前に	14
2 ノートパソコンでのセットアップ	17
自動でセットアップする	17
手動でセットアップする	17
Bluetooth 東芝ユーティリティをインストールする	19
Bluetooth SD カード3 をセットする	20
3 Pocket PC でのセットアップ	21
Bluetooth 東芝ユーティリティをインストールする	21
Bluetooth SD カード3 をセットする	23
4 製品仕様	24
5 Bluetooth について	25
6 廃棄について	32

はじめに

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

 お願い	データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。
 メモ	知っておくと便利なことを説明しています。

用語について

Windows XP Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Media Center Edition operating system 日本語版を示します。

Windows 2000 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Pocket PC 2002 Microsoft® Pocket PC 2002 Software 日本語版を示します。

Pocket PC 2003 Windows Mobile™ 2003 Software for Pocket PC 日本語版を示します。

Pocket PC 2003 Second Edition Windows Mobile™ 2003 Second Edition Software for Pocket PC 日本語版を示します。

ActiveSync Microsoft® ActiveSync® 3.7.1 を示します。

Bluetooth 東芝ユーティリティ

ノートパソコンの場合は、Bluetooth™ Stack for Windows® by TOSHIBA を示します。

Pocket PC の場合は、Bluetooth™ Card from TOSHIBA を示します。

記載について

- ・ 本書に記載しているイラストは一部を省略している場合があります。

Trademarks

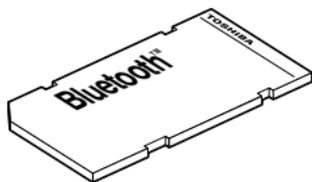
- ・ Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- ・ Microsoft、Windows、ActiveSync は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ コンパクトフラッシュは、米国 SanDisk Corporation の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

同梱物の確認

ご使用いただく前に、次のものがそろっているか確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

- ・ Bluetooth SD カード 3



- ・ Bluetooth SD カード 3 CD-ROM
- ・ 取扱説明書（本書）
- ・ 注意文言ステッカー
- ・ 保証書



・ 取扱説明書、CD-ROM、注意文言ステッカー、保証書は、必要なときにすぐに参照できるようにお手元に置いてご使用ください。

1 ご使用になる前に

Bluetooth SD カード 3 をパソコンにセットすることにより、Bluetooth 対応機器とワイヤレスで通信することができます。Bluetooth SD カード 3 を使用できるのは、SD カードスロットが装備されている（株）東芝製のノートパソコンと Pocket PC です。対応機種については、東芝ホームページでご確認ください。

URL : http://dynabook.com/pc/catalog/shuhen/index_j.htm
また対応 OS は、次のとおりです。

ノートパソコン : Windows XP / Windows 2000

Pocket PC : Pocket PC 2002 / Pocket PC 2003 /
Pocket PC 2003 Second Edition

Bluetooth SD カード 3 を使用するには、同梱の CD-ROM から Bluetooth のユーティリティである「Bluetooth 東芝ユーティリティ」または「Bluetooth 設定」をインストールする必要があります。

パソコン本体で CD-ROM ドライブを使用できるようあらかじめご準備ください。



- ・使用しないときは、本製品をパソコン本体から取り出してください。
- ・本製品をパソコン本体に取り付けたまま、持ち運びしないでください。
- ・本製品の端子（金属部分）をとときどき乾いた綿棒などで清掃してください。
- ・本製品表面の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。

Bluetooth SD カード 3 では、次の Bluetooth プロファイルをサポートしています。

プロファイル名	ノートパソコン	Pocket PC
ダイヤルアップネットワークング プロファイル (DUN)	○	○
FAX プロファイル (FAX)	○	—
LAN アクセスプロファイル (LAP)	○	○
シリアルポートプロファイル (SPP)	○	○
ヒューマンインタフェースデバイス プロファイル (HID)	○	—
ハードコピーケーブルリプレースメント プロファイル (HCRP)	○	—
ファイルトランスファープロファイル (FTP)	○	○
オブジェクトプッシュプロファイル (OPP)	○	○
ジェネリックアクセスプロファイル (GAP)	○	○
サービスディスカバリーアプリケーション アプリケーションプロファイル (SDAP)	○	○
ジェネリックオブジェクトエクスチェンジ プロファイル (GOEP)	○	○
パーソナルエリアネットワークング プロファイル (PAN)	○	○ *1/*2
ベーシックイメージングプロファイル (BIP)	○	—
アドバンスドオーディオディストリビューション プロファイル (A2DP)	○	—
オーディオ/ビデオリモートコントロール プロファイル (AVRCP)	○	—
ジェネリックオーディオ/ビデオディストリ ビューションプロファイル (GAVDP)	○	—
ヘッドセットプロファイル (HSP)	○	○ *3

- * 1 PANユーザ (PANU) のみサポート
- * 2 無線 LAN を有効にしているときに Bluetooth の PAN 機能を有効にするとメモリリソース不足により、PAN 機能が有効にならない場合があります。この場合は、無線 LAN を無効にしてください。
- * 3 Pocket PC 2003、Pocket PC 2003 Second Edition のみサポート

2 ノートパソコンでのセットアップ

Bluetooth SD カード 3 をノートパソコンにセットする前に、同梱の CD-ROM から「Bluetooth 東芝ユーティリティ」をインストールする必要があります。

また、お持ちのノートパソコンの SD カードドライバのバージョンによっては、SD カードドライバのアップデートが必要になります。



お願い

- Bluetooth 機能を搭載している東芝製パソコンでは、Bluetooth SD カード 3 を同時使用することはできません。あらかじめ Bluetooth 機能を無効にしておく必要があります。無効にするには、タスクトレイに表示されている [Bluetooth Manager] アイコンを右クリックし、表示されたメニューの [パワー OFF] をクリックしてください。

■ 自動でセットアップする

1 ノートパソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
CD のセット方法は、『ノートパソコンに付属の取扱説明書』を確認してください。

2 表示される画面に従って操作する

■ 手動でセットアップする

ここでは、手動でセットアップする方法を説明します。

● SD カードドライバをアップデートする

1 ノートパソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
CD のセット方法は、『ノートパソコンに付属の取扱説明書』を確認してください。

2 [デバイス マネージャ] の画面を表示する

[デバイス マネージャ] の画面を表示する方法は次のとおりです。

[システムのプロパティ] 画面を表示して、[ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] をクリックする

- 3** [SD Card Controller] をダブルクリックし、[TOSHIBA SD Card Controller] をダブルクリックする
[TOSHIBA SD Card Controllerのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4** [ドライバ] タブのバージョン欄を確認する
「2.X.X.XXXXX」 と表示されている場合は、アップデートする必要はありません。次ページの「Bluetooth 東芝ユーティリティをインストールする」以降の操作を行ってください。
「1.X.X.XXXXX」 と表示されている場合は、手順5以降の操作を行ってください。
- 5** [ドライバ] タブの [ドライバの更新] をクリックする
[ハードウェアの更新ウィザード] 画面が表示されます。
ドライバの検索メッセージが表示された場合は、[次へ] ボタンをクリックしてください。
- 6** 一覧または特定の場所からインストールをする方法を選択し、
[次へ] ボタンをクリックする
- 7** CD-ROM をセットしたドライブのSDフォルダを選択し、[次へ] または [OK] ボタンをクリックする
アップデートが始まります。アップデートが完了するとメッセージが表示されます。
- 8** [完了] ボタンをクリックする
パソコンを再起動してください。

■ Bluetooth 東芝ユーティリティをインストールする

ここでは、自動でインストールする方法を説明します。

- 1** ノートパソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
CD のセット方法は、『ノートパソコンに付属の取扱説明書』を確認してください。
- 2** 表示される画面に従って操作する
最初に表示される画面では、[PC(Windows)のインストール] アイコンを選択してください。
インストールが完了し、再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックし、再起動してください。

●手動でインストールする

ここでは、手動でインストールする方法を説明します。

- 1** ノートパソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
CD のセット方法は、『ノートパソコンに付属の取扱説明書』を確認してください。
- 2** [マイ コンピュータ] で CD-ROM をセットしたドライブのアイコンをダブルクリックし、[WINDOWS] フォルダをダブルクリックする
- 3** [setup.exe] アイコンをダブルクリックする
インストーラが起動します。
- 4** 表示される画面に従って操作する
インストールが完了し、再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックし、再起動してください。

以降、Bluetooth 通信についての詳細は、『オンラインマニュアル』を確認してください。

●オンラインマニュアルの起動方法

- 1 ノートパソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
- 2 [マイ コンピュータ] で CD-ROM をセットしたドライブのアイコンをダブルクリックし、[WINDOWS] フォルダをダブルクリックする
- 3 [Manual.exe] アイコンをダブルクリックする
- 4 使用する言語を選択し、[開く] ボタンをクリックする
オンラインマニュアルが表示されます。

■Bluetooth SD カード 3 をセットする

- 1 ノートパソコン本体の SD カードスロットに、Bluetooth SD カード 3 をセットする
SD カードのセット方法は、『ノートパソコンに付属の取扱説明書』を確認してください。
- 2 ノートパソコン本体の電源を入れ、Bluetooth 機能を起動する
Bluetooth 機能を起動するには、[Bluetooth 設定] を起動する必要があります。
[Bluetooth 設定] の起動方法は、次のとおりです
① [スタート] → [プログラム] または [すべてのプログラム]
→ [TOSHIBA] → [Bluetooth] → [Bluetooth 設定]
をクリックする
[Bluetooth 設定] が起動し、タスクトレイに [Bluetooth Manager] アイコンが表示されます。

3 Pocket PC でのセットアップ

Bluetooth SD カード 3 を Pocket PC にセットする前に、同梱の CD-ROM から「Bluetooth 東芝ユーティリティ」をインストールする必要があります。

インストール方法は、次のとおりです。

■ Bluetooth 東芝ユーティリティをインストールする

●自動でインストールする

ここでは、自動でインストールする方法を説明します。

- 1** Pocket PC とパソコンを、クレードルまたはケーブルを使って ActiveSync で接続する
接続方法は、『Pocket PC に付属の取扱説明書』を確認してください。
- 2** パソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
CD のセット方法は、『パソコンに付属の取扱説明書』を確認してください。
- 3** 表示される画面に従って操作する
最初に表示される画面では、[Pocket PC インストール] アイコンを選択してください。
また、インストール後の設定方法は、「手動でインストールする」の手順 6 以降を確認してください。

●手動でインストールする

ここでは、手動でインストールする方法を説明します。

- 1** Pocket PC とパソコンを、クレードルまたはケーブルを使って ActiveSync で接続する
接続方法は、『Pocket PC に付属の取扱説明書』を確認してください。
- 2** パソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
CD のセット方法は、『パソコンに付属の取扱説明書』を確認してください。

3 [マイ コンピュータ] で CD-ROM をセットしたドライブのアイコンをダブルクリックし、[POCKETPC] フォルダをダブルクリックする

4 [setup.exe] アイコンをダブルクリックする

5 表示される画面の内容に従って操作する

[アプリケーションの追加と削除] 画面で、[規定のセットアップフォルダにプログラムをインストールする] がチェックされていることを確認してください。

インストール完了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。

Pocket PC に [FTP-OBEX 認証設定] 画面が表示されます。

6 パスワードを入力し、[OK] ボタンをタップする

ここでは、FTP アプリケーションの OBEX 認証パスワードを設定します。

パスワードに使用できる文字は、16 文字以内の英数字です。

7 インストール完了のメッセージを確認し、[OK] ボタンをタップする

Pocket PC を再起動してください。



お願しい

・ Pocket PC から「Bluetooth 東芝ユーティリティ」をアンインストールする場合は、SD カードスロットから Bluetooth SD カード 3 を取り出し、Pocket PC 本体をリセットしてからアンインストールしてください。

■ Bluetooth SD カード 3 をセットする

- 1 Pocket PC 本体の電源を入れ、SD カードスロットに、Bluetooth SD カード 3 をセットする
SD カードのセット方法は、『Pocket PC に付属の取扱説明書』を確認してください。
「Bluetooth 設定」のアイコンが表示されます。

以降、Bluetooth 通信の詳細については、『オンラインマニュアル』を確認してください。

●オンラインマニュアルの起動方法

- 1 パソコンのドライブに、同梱の CD-ROM をセットする
- 2 [マイ コンピュータ] で CD-ROM をセットしたドライブのアイコンをダブルクリックし、[POCKETPC] フォルダをダブルクリックする
- 3 [Manual.exe] アイコンをダブルクリックする
- 4 使用する言語を選択し、[開く] ボタンをクリックする
オンラインマニュアルが表示されます。



メモ

- ・ Pocket PC の CF カードスロットに CF カードモデム、CF Bluetooth カード、CF LAN カードなどの通信機器がセットしてあるとき、SD カードスロットに Bluetooth SD カードをセットして通信しようとしても、正常に動作しません。この場合は、CF カードスロットからカードを取り出してから、通信を行ってください。
- ・ Bluetooth SD カード 3 は、カードごとに固有のデバイスアドレスを持っていて、通信を行っています。したがって Pocket PC に、いつも使用している Bluetooth SD カード 3 とは違うカードをセットして通信しようとする、正常に通信接続ができないことがあります。この場合は、次のような操作を行ってから通信接続をしてください。
 - ・ Pocket PC 本体のリモートデバイス画面に表示されるデバイスを、すべて削除する。
 - ・ 接続相手側が記憶している、こちら側の情報を削除する。

4 製品仕様

Bluetooth 仕様	V1.2 規格準拠	
送信電力クラス	Power class 3	
通信距離	見通し 10 m (最大)	
外形寸法	約縦 40 × 横 24 × 厚さ 2.1 mm	
質量	4g 以下	
電源条件	電圧	DC3.3V (3.1 ~ 3.6V)
	消費電流	50 mA (最大 100 mA)

- ・ Bluetooth SD カード 3 の通信距離／速度は、設置場所、設置方向、使用環境、通信接続相手の機器の性能などにより、変化します。

●使用できる国、地域について

本製品は次の国、地域で使用できるように無線規格を取得しています。

アイルランド、アイスランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、台湾、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、香港、ルクセンブルグ、韓国、中国
(2004年8月現在)

5 Bluetooth について

●無線特性

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。



メモ

- ・アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- ・無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る " 障害物 " がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

●Bluetooth SD カード3 を日本でお使いの場合のご注意

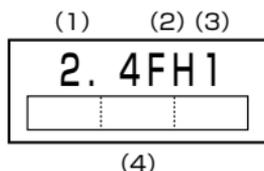
日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は 2,400MHz ~ 2,483.5MHz です。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯 2,427MHz ~ 2,470.75MHz と重複しています。

【ステッカー】

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCダイヤルへお問い合わせください。

【現品表示】



- (1) 2.4 : 2,400MHz 帯を使用する無線設備を表す。
- (2) FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示す。
- (3) 1 : 想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示す。
- (4)  : 2,400MHz ~ 2,483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

【東芝 PC ダイアル】

受付時間 / 9:00 ~ 19:00 (年中無休)

ナビダイヤル / 0570-00-3100

●機器認定表示について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、技術基準適合証明を受けております。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解 / 改造すること

無線設備名 : SD-BT2

財団法人 テレコムエンジニアリングセンター 認証番号 001NYCA1176

●ユーザに対するお知らせ

【無線製品の相互運用性】

本製品は、Frequency Hopping Spread Spectrum (FHSS) 無線技術を使用するあらゆる Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- ・ Bluetooth Special Interest Group 策定の Bluetooth Specification Ver. 1.2
- ・ Bluetooth Special Interest Group の定義する Bluetooth ワイヤレステクノロジーの Logo 認証



お困り

- ・ 本製品はすべての Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

- (1) 本製品は Bluetooth Version 1.2 仕様に準拠しております。Bluetooth Version 1.0B 仕様の Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
- (2) Bluetooth 接続においては、無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所その他、電波状態の悪い環境で使用した場合、接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- (3) Bluetooth と無線 LAN は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。
- (4) 重要なデータを送受信した後には、必ずデータ内容の確認をしてください。

万データの変化や消失が確認された場合には、再度送受信を実施して、再びデータ内容の確認を行ってください。また、データの変化や消失を防ぐため、重要なデータは、元となるデータを他の記録装置に保管（バックアップ）しておくことをおすすめします。

- (5) 本製品は、無線通信時のセキュリティ対策として、Bluetoothの標準仕様に準拠したセキュリティ機能を搭載しています。

しかし、本カードの使用環境によっては、上記セキュリティが十分でない場合があります。このため、お客様ご自身でも、Bluetoothによるデータ通信の際は十分に注意してください。弊社は、Bluetoothによるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。

【健康への影響】

Bluetoothワイヤレステクノロジーを用いた製品は他の無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。

【安全上の注意事項】

Bluetoothワイヤレステクノロジーを用いた製品は、周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がBluetoothワイヤレステクノロジーの使用を制限する場合があります。以下にその例を示します。

- ・ 飛行機の中でBluetoothワイヤレステクノロジーを用いた製品を使用する場合
- ・ 他の装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Bluetoothワイヤレステクノロジーを用いた装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

USA

FCC Notice

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC Caution

CAUTION: Change or modification not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Canada

To prevent radio interference to the licensed service, this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment that is installed outdoors is subject to licensing.

The term "IC" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specification were met.

"Operation of this device is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device."

"The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code, obtainable from Health Canada's website www.hc-sc.ca/rpb"

End user can not modify this transmitter device.

Any unauthorized modification made on the device could void the user's authority to operate this device.

Europe



European Union (EU) and EFTA

- This equipment complies with the R&TTE directive 1999/5/EC and has been provided with the CE mark accordingly.
- Note that the radio frequency band used this equipment has not been harmonized in all the EU.
- Applicable areas (countries)
Austria, Belgium, Denmark, Finland, France, Germany, Greece, Iceland, Ireland, Italy, Luxembourg, Norway, Portugal, Spain, Sweden, Switzerland, The Netherlands, United Kingdom

Taiwan

Article 14 Unless approved, for any model accredited low power radio frequency electric machinery, any company, trader or user shall not change the frequency, increase the power or change the features and functions of the original design.

Article 17 Any use of low power radio frequency electric machinery shall not affect the aviation safety and interfere with legal communications. In event that any interference is found, the use of such electric machinery shall be stopped immediately, and reusing of such products can be resumed until no interference occurs after improvement.

The legal communications mentioned in the above item refer to radio communications operated in accordance with telecommunication laws and regulations.

Low power radio frequency electric machinery shall resist against interference from legal communications or from industrial, scientific and medical radio emission electric machinery.

Korea

기기의 명칭	특정소출력무선기기(무선테이타통신시스템 및 무선LAN용)
기기의 모델명	SD-BT2
성명 또는 상호	도시마디치탈미디어네트웍코리아(주)
제조년월일	200 년 월 일
제조사 및 제조국가	Semi conductor Comany Toshiba Corporation/ 일본

6 廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは各地方自治体に問い合わせてください。

東芝 PC ダイヤル

技術的なご質問、お問い合わせにお答えいたします。

お問い合わせの際には、「お客様登録番号」をお伺いしております。
あらかじめ「お客様登録」を行っていただきますようお願い申し上げます。

ナビダイヤル **0570-00-3100** (サポート料無料)

受付時間 / 9:00 ~ 19:00 (年中無休)

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。なお、システムメンテナンスの日程については、dynabook.com 上にて、お知らせいたします。

電話番号は、お間違えのないようお確かめの上、おかけくださいますようお願いいたします。

お客様からの電話は全国 6 箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。拠点までの電話料金は有料となります。

海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT 以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は 043-298-8780 で受け付けております。

ご注意

- ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国 6 箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません。
- ・ナビダイヤルでは、NTT 以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的に NTT 回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

東芝 PC FAX 情報サービス

東芝 PC の商品情報、Q&A などを 24 時間お届けします。

043-270-1358

東芝 PC FAX 情報サービスでは音声 FAX 応答システムの採用により、パソコンの各種情報を FAX で提供しております。お手元の FAX (G3 モード対応) から電話をおかけになり、音声案内に従って操作してください。ただし、メンテナンスのため休止させていただくことがあります。

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
 - ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
 - ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- 東芝 PC ダイヤルにお問い合わせください。

Bluetooth™ SD カード 3 取扱説明書

2004 年 7 月 23 日 A1 版発行

発行 株式会社 **東芝** PC& ネットワーク社 PC 第一事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

©2004 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED

無断複製および転写を禁ず

GX1C0005P110



発行 株式会社 **東芝** PC& ネットワーク社 PC 第一事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

©2004 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED
Printed in Japan